

教科名 (科目名)	理数 理数数学Ⅰ	履修学年	1 年	学科	普通 フロンティア 科
		単位数 (週当たりの授業時数)		4	単位

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

数学的に物事を考える力を育成することは実社会においても物事を正しく捉えたり、考えたりすることができることにつながる。今後、更に複雑な社会になることを考えれば数学的に正しく捉え、論理的に筋道を立てて考えていく能力を身につけることが各自の豊かな人生につながると考え、以下の項目を目標とする。

- ①基礎・基本の定着 ②計算力の向上 ③考えることを楽しむことができる生徒の育成
- ④自ら課題を設定し、疑問点や弱点の克服に自分で取り組んでいける力の育成
- ⑤深い理解・正しい理解を常に求める生徒の育成

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	数学Ⅰの「数と式」「二次関数」「図形と計量」「データの分析」などにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。数学Aの「図形の性質」「場合の数と確率」「数学と人間の活動」などにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。また、それらの知識をもとに、事象を数学的に表現したり、目的に応じて正確に計算や処理を行ったりする技能を身に付けている。	問題解決に向けて、事象を数学的な視点で捉え、これまでに学習した知識や技能を活用しながら、論理的・統合的・発展的に考察している。また、その考察の過程や導き出した結果を、数式、図表、言葉などを用いて、他者に簡潔・明瞭かつ的確に表現している。	数学のよさや実用性を認識し、自らの学習状況や理解度を客観的に把握している。さらに、問題解決の過程を振り返り、つまづいた箇所を見直したり、新たな問いを見出したりしながら、より深い理解に向けて自ら調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。
評価方法	・定期考査 ・単元テスト	・定期考査 ・単元テスト ・グループワーク	・自己評価、提出物 ・授業への取り組み

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

教科書： 深進数学Ⅰ 改訂版 (啓林館)
 深進数学A 改訂版 (啓林館)
 問題集： Focus Gold Smart 数学Ⅰ+A (啓林館)
 類比方式による数学ⅠA問題集 (九数教)

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

○授業は教科書中心の内容とし、復習・定着を図る。また、実力養成のため、副教材を利用したレポート等を課す。
 ○予習・授業・復習の学習サイクルの確立と思考過程を大切に学習習慣の確立を目指す。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学 期	4月	○数と式【Ⅰ】	単元テスト 単元テスト 単元テスト 期末テスト	単元テスト 単元テスト 単元テスト 期末テスト	授業態度、発表 自己評価 レポート等
	5月	○集合と命題【Ⅰ】			
	6月	○2次関数【Ⅰ】			
	7月	○図形と計量【Ⅰ】			
2 学 期	8月	○図形と計量【Ⅰ】	単元テスト 単元テスト 期末テスト 単元テスト	単元テスト 単元テスト 期末テスト 単元テスト	授業態度、発表 自己評価 レポート等
	9月	○データの分析【Ⅰ】			
	10月	○場合の数と確率【A】			
	11月	○図形の性質【A】			
	12月	○数学の人間の活動【A】			
3 学 期	1月	○式と証明【Ⅱ】			
	2月	○複素数と方程式【Ⅱ】 ○図形と方程式【Ⅱ】			
	3月				